

オソルノ七夕祭り 2026

7月12日（日）、オソルノ市にて、日本の文化や伝統の普及・振興を目的とした「オソルノ七夕祭り 2026」が今年も開催されました。このイベントはオソルノ日本文化協会が主催し、レオニラ・フォルチ・ロペス学校において行われました。



「七夕」は「星の祭り」としても知られ、織姫と彦星の伝説に由来する日本の伝統行事です。ベガとアルタイルという星に例えられる織姫と彦星は、天の川を隔てて離ればなれとなっていますが、年に一度、7月7日にだけ会うことができます。この祭りの代表的な風習の一つは、「短冊」と呼ばれる色とりどりの小さな紙に願い事を書き、それを竹の枝に飾ることです。



こうした背景から、オソルノの七夕祭りは、チリの人々に日本の様々な伝統文化を紹介し、両国間の相互理解と文化交流を促進する重要な文化交流の場となっています。2026年の同祭りも大きな反響を呼び、開催当日は約3,000人が集まりました。



このイベントには、オソルノおよび近隣地域から、家族連れや幅広い年齢層の人々が参加し、日本企業「フォレストル・アンチレ」社をはじめとする地元のスポンサー各社の後援を受けて開催されました。プログラムには、伝統舞踊、和太鼓の演奏、武道デモンストレーション、演歌、文化ブース、そして日本料理の試食などが盛り込まれました。在チリ日本国大使館は、茶道デモンストレーションおよび書道ワークショップを実施しました。



「オソルノ七夕まつり 2026」は日本文化の普及と相互理解の促進の重要な機会です。同行事の成功裏の実施に尽力いただいたオソルノ日本文化協会と同関係者、参加団体、オソルノ市、カラビネロス（軍警察）に加え、同地域の多くの日本文化ファンのご参加に感謝します。